

報道関係者 各位

立命館大学広報課

世界平和アピール七人委員会 2015 年講演会 「新しい戦前を作らないために 戦後 70 年の世界と日本」開催のご案内

立命館大学国際平和ミュージアムでは、世界平和アピール七人委員会と共同で「世界平和アピール七人委員会 2015 年講演会 『新しい戦前を作らないために 戦後 70 年の世界と日本』」を開催します。

2015 年は、戦後 70 年、国連誕生 70 年、アジア・アフリカ諸国のバンドン会議、核兵器と戦争の廃絶を世界に訴えたラッセル・アインシュタイン宣言と世界平和アピール七人委員会の発足から 60 年の大きな節目にあたります。世界平和アピール七人委員会とは、1955 年 11 月 11 日、平凡社創設者・下中弥三郎氏の提唱によって結成された、平和問題に関する意見表明のための有志 7 人の会です。結成時の委員は下中氏のほかに、平塚らいてう氏や湯川秀樹氏、前田多門氏などが務め、その後も朝永振一郎氏や川端康成氏など名だたるメンバーが加入しています。

今年の講演会では、「戦後 70 年」をキーワードにこれまでの歴史を振り返り、日本と世界の現状を分析し、これから歩むべき道を見定めます。現在委員を務める七人によって、世界中の一人ひとりが、恐怖と欠乏から免れ、平和の裡に安心・安全に生きていける社会の形成に向けて、それぞれの立場から訴えます。

記

日 時：2015 年 11 月 12 日(木) 13:30～17:00 (開場 13:00)

場 所：立命館大学衣笠キャンパス 以学館 2 号ホール

内 容：13:30-13:40 開会の挨拶 (モンテ・カセム 国際平和ミュージアム館長)

13:40-13:50 七人委員会について (小沼通二氏)

13:50-14:35 講演「戦後70年」(土山秀夫氏、池内了氏、高村薫氏) ※3名・各15分

14:35-15:00 「戦後70年：刻まれた傷」(大石芳野氏)

15:00-15:15 休憩

15:15-16:15 講演「戦後70年」 ※4名・各15分

(池辺晋一郎氏、武者小路公秀氏、小沼通二氏、モンテ・カセム館長)

16:15-16:50 質疑・討論

16:50-17:00 閉会の挨拶 (池内了氏)

参加料：無料 申込み：不要

問合せ：立命館大学国際平和ミュージアム

TEL. 075-465-8151 FAX. 075-465-7899

主 催：世界平和アピール七人委員会

共同主催：立命館大学国際平和ミュージアム

後 援：NHK 京都放送局、KBS 京都、朝日新聞社、京都新聞、毎日新聞社、

読売新聞社、時事通信社、京都弁護士会、日本国際連合協会京都本部

以上



●武者小路 公秀

(むしゃこうじ きんひで)

専門は国際政治学。1929年ベルギー生まれ。IMADR(反差別国際運動)副会長、大阪アジア太平洋人権情報センター(ヒューライツ大阪)会長など。元国連大学プログラム担当副学長、前大阪経済法科大学アジア太平洋研究センター所長、前大阪国際平和センター(ピース大阪)会長。著書に、『人間安全保障序説:グローバル・ファシズムに抗して』(国際書院)、『転換期の国際政治』(岩波新書)、『日本の形:外交・内政・文明戦略』(編著:藤原書店)など。

●小沼 通二

(こぬま みちじ)

専門は物理学(素粒子理論)。1931年東京生まれ。2004年以来世界平和アピール七人委員会事務局長。現在、神奈川歯科大学理事、慶應義塾大学名誉教授など。日本学術会議原子核特別委員会委員長、日本物理学会会長、アジア太平洋物理学会連合会長、ノーベル平和賞を受賞したバグウォッシュ会議の評議員などを務めた。ハンガリー科学アカデミー名誉会員、素粒子メダル功労賞。J. ロートプラットほか著『核兵器のない世界へ』を共同して監訳(かがわ出版)、『エネルギーを考える』共著、『アジアの「核」と私たち』共著ほか。

●高村 薫

(たかむら かおる)

作家。1953年大阪市生まれ。ミステリー小説でデビューした後に純文学に転向し、随筆、社会時評も手がける。ミステリーの主な作品は『リヴィエラを撃て』(93年第49回日本推理作家協会賞)、『照柿』(94年)、『マークスの山』(93年第109回直木賞)、『レディ・ジョーカー』(97年毎日出版文化賞)。純文学の主な作品は『晴子情歌』(05年)、『新リア王』(06年第4回親鸞賞)、『太陽を曳く馬』(10年第61回読売文学賞)、『冷血』(12年)。ほかに雑文集『半眼訥訥』、『作家的時評集』、『閑人生生』、『続・閑人生生』など。

●土山 秀夫

(つちやま ひでお)

専門は病理学。1925年長崎市生まれ。長崎大学名誉教授、長崎平和宣言文起草委員、核兵器廃絶ナガサキ市民会議代表、『核兵器廃絶—地球市民長崎集会』実行委員会顧問、長崎県九条の会共同代表ほか。元長崎大学学長。核兵器廃絶を中心とした安全保障や憲法問題についても精力的に取り組み、被爆地の立場から発言を続けている。『NPT体制崩壊の危機』、『核兵器廃絶への期待と指針』、『非核兵器地帯と被爆地の視点』、近著に『核廃絶へのメッセージ』、『核兵器廃絶への道』ほか論文多数。

●池内 了

(いけうち さとる)

専門は宇宙論・宇宙物理学、科学と社会。1944年兵庫県姫路市生まれ。名古屋大学名誉教授・総合研究大学院大学名誉教授。京大、北大、東大、国立天文台、大阪大学、名古屋大学、早稲田大学、総合研究大学院大学を歴任。現在は科学と社会の関わりについて教育・評論活動に従事し、『新しい博物学』を提唱。著書に、『疑似科学入門』、『現代科学の歩き方』、『禁断の科学』、『科学者心得帳』、『科学の限界』などがある。最近、ライフワークである『科学・技術と現代社会』を上梓した。

●大石 芳野

(おおいし よしの)

写真家。1943年東京生まれ。フリーランスとして40年余りドキュメンタリー写真を撮り続けている。日本大学客員教授。写真集に『夜と霧は今』、『沖縄に生きる』、『HIROSHIMA半世紀の肖像』、『カンボジア 苦界転生』、『ベトナム 凜と』、『アフガニスタン 戦禍を生きぬく』、『ソボ破壊の果てに』、『子ども 戦世のなかで』、『<不発弾>と生きる~祈りを織るラオス』、『それでも笑みを』、『福島FUKUSHIMA土と生きる』他。受賞:土門拳賞、紫綬褒章、JCJ賞(日本ジャーナリスト会議)ほか。

●池辺 晋一郎

(いけべ しんいちろう)

作曲家。1943年水戸生。東京音大客員教授、横浜みなとみらいホール、東京オペラシティなどの館長、監督。交響曲9曲、オペラ『鹿鳴館』『高野聖』他。映画『影武者』『楳山節考』『うなぎ』TV『未来少年コナン』『独眼竜政宗』『元禄繚乱』他。演劇音楽約470本。66年日本音楽コンクール1位。音楽之友社賞、ザルツブルクTVオペラ祭優秀賞、尾高賞2度、イタリア放送協会賞3度、国際エミー賞、日本アカデミー賞音楽賞9度、放送文化賞、紫綬褒章他。著書に『空を見ますか1~5』『モーツァルトの音符たち』他。